



ゆめ広場



令和4年度 城山東小学校だより 第1号 4月20日

HPもご覧ください

令和4年度のスタートにあたって

保護者の皆様、地域の皆様、はじめまして。今年度より城山東小学校長に就任いたしました、黒尾裕子と申します。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、8日（金）には、着任式と始業式を実施し、無事に1学期をスタートすることができました。残念ながら対面ではなくGoogle meetによるオンラインでの実施でしたが、その後の子供たちの表情からは、新学期への期待に胸を躍らせ、頑張ろうという意欲が感じられました。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響は続くことが予想され、今年度も引き続き感染症対策を講じながらの教育活動が多くなると思います。できる限り充実した学校生活が送れるよう職員一同取り組んでまいります。感染の状況によっては、やむを得ず急な変更し、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



ご入学おめでとうございます！！

しだれ桜やはなもも、色とりどりの花壇の花々に囲まれ、12日（火）入学式が行われました。

今年度、入学したのは、19名。担任の先生の呼名に、元気に返事をすることができました。式に参加した6年生も、立派な態度でした。入学式の式辞では、「自分のことは自分でできるようにする」、「元気な返事やあいさつをする」ことをお話ししました。

これで、城山東小全児童128名揃っての学校生活が始まりました。



お世話になりました

14日（木）に、3月までお世話になった先生方の離任式を行いました。放送で一人一人からメッセージをいただいた後、校舎の中でお見送りをしました。感謝の言葉を伝えながら、涙と笑顔いっぱいでお送りしました。

宮井由美校長先生、善林晃子先生、國分淳平先生、笠原里恵先生、半谷（稲村）美和子先生、シェインマットス先生、ありがとうございました。



今年度のチーム城山東メンバーです。

よろしくおねがいします。

※ 今年度着任

校 長	黒 尾 裕 子 ※	学力向上担当	渡 辺 麻 紀
副 校 長	齋 藤 靖 夫	かがやきルーム担当	笹 由 記
教務主任	荒 井 秀 一	学校栄養士	黒 川 弘 美 ※
1 年 1 組	中 山 結希子	学校図書館司書	三 浦 あゆみ
2 年 1 組	駒 場 一 博 ※	学校業務担当	矢 口 清 夫
3 年 1 組	小野口 芳 男	学級支援事務担当	川 俣 久 恵
4 年 1 組	坂 本 那 月 ※	育休：鈴木 恵理・青砥 ほなみ	
5 年 1 組	渡 邊 和 之 ※	スクールカウンセラー（城山中）	岡 田 陽 子 ※
6 年 1 組	山 木 みどり	A L T （城山中）	フリップグロウ ※
ジャンプ1	石 川 健 二	I C T支援員（城山中）	川 上 大 周
ジャンプ2	糺 谷 由 美		
養護助教諭	宮 地 和 代		
主 事	廣 田 潤		

学校経営方針 令和4年度の努力点

目指す学校像・児童像

◇温かさや活気に満ちた学校 ◇安心・安全な学校 ◇地域とともにある学校
◆心豊かで思いやりのある子 ◆よく考えて進んで学ぶ子 ◆健康で明るい子 ◆根気強くがんばる子

目標達成のための具体策（抜粋）

豊かな心の醸成

- 自己有用感の育成
- あいさつ 時間 あったか言葉
- 思いやりの心を育む道德教育
- 居がいのある学級作りといじめゼロ運動の推進
- 情報メディアの適切な活用
- 読書活動の充実

確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びによる思考力・判断力・表現力の育成
- 「分かる」「できる」「楽しい」授業
- 学業指導の充実
- 基礎・基本の定着をはかる朝の学習
- 家庭学習の習慣化とまとめの学習
- 夢に向かって努力するキャリア教育

健やかな体の育成

- 命を守る安全教育の推進
- 健康を管理する保健指導
- 体力アップタイムと各種検定の実施
- 東小タイムの活用による外遊びの奨励
- 望ましい食習慣

魅力ある学校づくり

- HPからの情報発信
- 地域人材・資源を活用した大谷プランと宇都宮学
- 教師の指導力向上と学校力の向上
- 地域学校園小中連携・幼保小連携
- いじめ・不登校防止への積極的・組織的取組
- チーム城山東による教育力の向上

学習面では、主体的・対話的な学びを通して、「表現力」を身に付けさせることを重点目標に掲げています。比較や順序立てなどの「考えるためのヒント」を活用して思考し、表現する力を身に付けさせます。生活面では、合い言葉「あいさつ 時間 あったか言葉」に力を入れ、規律ある中に温かさや活気に満ちた学校作りを目指します。これらの取組に加えて、異学年交流、学校や社会をよりよくするための主体的な活動の推進などにより、自己有用感（自分は役に立つ、かけがえのない存在であるという感覚）を育てていきたいと考えています。